

# 渋沢栄一 アンドロイド



## 渋沢 栄一アンドロイドとは？

深谷市郷土の偉人・渋沢栄一（1840年～1931年）の生誕180年にあたる節目の年、2020年に「渋沢栄一アンドロイド」が完成しました。

渋沢栄一は、明治維新後に近代化を迎えた日本経済の発展に大きく貢献しました。論語の精神を重んじた「道徳経済合一説」を唱え、生涯設立にかかわった会社は500を数えます。また、約600もの社会福祉事業、教育の支援と民間外交にも熱心に取り組みました。

この渋沢栄一アンドロイドは、当時の渋沢栄一の風貌を忠実に再現しており、アンドロイドが語る言葉を通して、在りし日の渋沢栄一の考え方を今に伝えます。

渋沢栄一アンドロイドは、深谷市出身の鳥羽 博道氏（株式会社ドールコーヒー名誉会長）の寄付により制作しました。

埼玉県深谷市

<http://www.city.fukaya.saitama.jp/>

本日の  
講演内容は  
こちらから



寄付者である鳥羽氏の「思い」(『渋沢栄一—アンドロイド制作発表会』での発言より)

# 「アンドロイドをきっかけに、栄一翁の功績をさらに多くの人に知ってもらおう」



株式会社ドールコーヒー  
鳥羽 博道名誉会長

深谷では、栄一翁のことを『郷土の偉人』と言っていますが、私は常々『郷土の偉人』というだけでなく、『日本の偉人』だと考えていました。

栄一翁は明治以降の日本の発展に大きく関わり、その貢献は計り知れません。そんな栄一翁の功績をより多くの人に知ってもらうために、本物そっくりの『アンドロイド』を明治時代の雰囲気のまま、まさに目の前に当時の栄一翁がいるがごとく、『論語と算盤』などの話をすることで、さらに多くの人々が栄一翁の功績を知る

きっかけになればと考えています。

私の地元でもある深谷が盛り上がるのではないかと考えています。

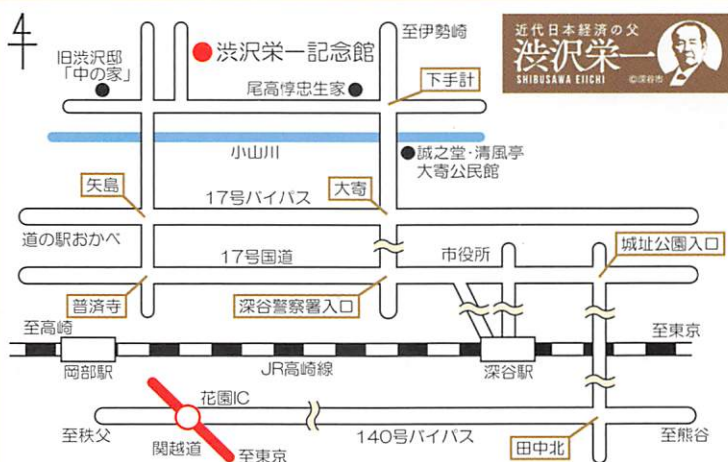
## 「アンドロイドで渋沢栄一の存在をよりリアルに感じる」

今回、技術指導として関わられたことは、大変光栄です。栄一翁がアンドロイドとして甦ることで、子どもから大人、特にビジネスマンなどいろいろな人に影響を与えると考えています。

栄一翁の書いた本は、今でも読むことができますが、本物そっくりのアンドロイドから言葉を聞くことで、存在をよりリアルに感じ、言葉の本当の意味を理解することにつながるでしょう。



大阪大学大学院  
基礎工学研究学科  
石黒 浩教授



渋沢栄一記念館

深谷市下手計1204  
Tel 048-587-1100

花園ICから約15km  
深谷駅から約6km